



2019~2020

最上川



このマークはガバナーテーマの「サステナビリティ」をイメージして持続を表したデザインです

Lions Club332-E 地区機関誌



ラオス・ホンカー小学校建設支援訪問

ガバナー・テーマ

サステナビリティ

アクティビティ・スローガン

「サステナブル・アクティビティ」
～持続可能性のある奉仕活動を～

CONTENTS

ガバナー公式訪問	P 2
山形県知事表敬訪問	P 8
山形まるごとマラソン	P 8
副ゾーンチェアパーソンセミナー	P 9
薬物乱用防止活動	P 9
災害支援	P10
ピンクリボン啓発講演会	P11
周年行事	P12
YCE派遣生レポート	P13
献血推進研究会	P14
ホンカー小学校建設支援	P14
マンスリーレポート	P15

ガバナー公式訪問を終えて

ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区

ガバナー L. 伊藤 明彦

今年度のガバナー公式訪問は9月5日の第2リジョン合同からスタートし、9月27日の第1リジョン合同まで県内8か所において開催されました。熱のこもった意見交換がおこなわれ、和気あいあいとした懇親交流会がおこなわれ、各リジョン各ゾーン内の全てのクラブと親しく話し合いを出来たことが、大きな成果であったと思っています。

三役協議会では、ガバナーテーマ、アクティビティ・スローガン、重点目標について説明をさせていただき、十分に理解していただけたことをうれしく思います。

主要な議題は下記の4項目であります。

- ①SDGs（持続可能な開発目標）にかかわるアクティビティへの取り組み
 - ②クラブ会長のテーマ、運営方針、クラブ活性化について
 - ③会員増強について
 - ④LCIFキャンペーン100について
- 各クラブ共に、悩みながら試行錯誤を重ねながら、

それでも前向きに楽しんで奉仕活動とクラブ運営に取り組んでいることに感動いたしました。会員増強については全てのクラブが苦勞していることですがライオンズクラブの持続可能性にとって最重要課題ですので1クラブ2名の増強（うち女性1名）を是非ともお願いいたします。最後にLCIFキャンペーン100についてですが、世界がライオンズクラブの奉仕活動を待っていることを念頭に置いていただき目標達成に向けて取り組んでいただけることを期待しています。

今期もそろそろ折り返し点に差し掛かろうとしています。今後も、地球の持続可能性・人々の持続可能性・地域社会の持続可能性、そしてライオンズクラブの持続可能性に貢献できるように、全てのことに全力で取り組んで参りましょう。

最後になりますが、担当のゾーンチェアパーソン・副ゾーンチェアパーソン・ホストクラブ・ライオン各位に深謝を申し上げ御礼の挨拶と致します。



第1R・第1Z・第2Z

1R・2Z L.伊澤 岩男 (山形羽陽LC)

去る9月27日、山形国際ホテルを会場に332-E地区ガバナー伊藤明彦・キャビネット役員構成員の方々のご出席の下、第1・第2Z・合同のガバナー公式訪問例会を開催させて頂きました。

例会の前に三役協議会を開き、各クラブ三役・キャビネット構成員をご紹介させて頂き、ガバナー主導の下各クラブの方針を発表させて頂きました。

ガバナー公式訪問例会は、地区ガバナーよりご挨拶並びに方針の発表を賜り、続いて副地区ガバナーよりご挨拶を賜りました。新入会員の入会式では、ガバナーより直接ラベルボタンを付けて頂き緊張の面持ちの会員もいたようです。懇親会も楽しく和やかな雰囲気の中で無事終了する事が出来ましたことをご報告させて頂きます。

最後になりましたが、担当クラブの山形アルカディアLCの皆様には御礼申し上げます。

大変お世話になりありがとうございました。



パーソンL.杉沼 (高畠ライオンズクラブ)、第1ゾーンゾーンチェアパーソンL.鳥海 (米沢松岬ライオンズクラブ)そして第2ゾーン10クラブから総勢141名のメンバーが参加し盛大に開催されました。

17:00からの三役協議会では、地区ガバナーより本年度の会長テーマ、アクティビティテーマや方針の説明があり各クラブとも呼応した形で今年度の考えを述べておりました。

合同例会では物故者への黙祷、ライオンズの歌を声高らかに、またライオンズの誓いを朗唱した。

20:00からの晩餐会では、屋代元地区ガバナーの挨拶に始まり、近野元地区ガバナーのウィサープの声のもと終始和やかな会となりました。

この度の公式訪問に際しご尽力を頂きました会員各位とキャビネットに感謝を申し上げ御礼といたします。有難うございました。

第3R・第1Z

3R・1Z L.皿谷太郎兵衛 (寒河江LC)

私達が所属する3R1Zは河北、寒河江、西川、中山、寒河江臥龍ライオンズクラブの5クラブで構成され、地域的にも10km程の範囲に位置しております。

又、3R1Zには1市4町の人口約84,000人の地域の中で5クラブ185名のメンバーによってライオンズ活動が行われております。

私達3R1Zへの公式訪問は9月6日に寒河江市の会場において伊藤明彦ガバナー、小関利一第一副地区ガバナー、佐野宏美第二副地区ガバナー始めキャビネット役員

第2R・第1Z・第2Z

2R・1Z L.鳥海 隆太 (米沢松岬LC)

令和元年 新年号に代わり332-E地区初めてのガバナー公式訪問例会を2R・1Z・2Z合同で9月5日米沢市グランドホクヨウにて開催させて頂きました。

当日はL.伊藤明彦地区ガバナー並びに小関第一副地区ガバナー、佐野第二副地区ガバナーそしてキャビネット役員を迎え第2リジョンからは、第2ゾーン ゾーンチェア



の方々の出席を得て5クラブ合同例会と兼ねて開催いたしました。

第一部の公式訪問三役協議会ではガバナーテーマでありますサステナビリティつまり持続性のある時代時代に合った運動の必要性を、力強くスピーチされております。このことは広く環境や、住宅、建築や建設までその必要性が指摘されております。一過性では無く真にあるべき事の大切さなのでしょう。

協議会では5クラブの会長さんのテーマや事業の説明が行われ、それについてガバナーからの質問があり、1時間30分はあっという間に終了いたしました。協議会で感じた事は各クラブが地域と関わった事業を大切に実施している事、会員減少の中で事業の考え方・進め方等を悩みながら行っており、このようなクラブの状況であっても、姉妹クラブ交流を継続しているクラブが多数ある事は嬉しい事です。3R1Zの今年の会員増強目標は9名と掲げており何とかこれを達成してもらいたいと思います。又、本年度2回目の会員100ドル献金目標事業は各クラブ共に提出方法に苦慮している現状がうかがえます。



第二部のガバナー公式訪問5クラブ合同例会は各クラブ会員出席のもとガバナーの挨拶から始まり、誠に爽やかにスイスイと進行いたしました。

第三部の懇親会ではキャビネット役員の方々と5クラブ会員の交流が一層深まり、これこそがライオンズ活動のエネルギー源の一つでしょう。

又、ガバナー公式訪問例会にご出席の皆様のご協力、誠にありがとうございました。

第3R・第2Z

3R・2Z L.大高 廣志(天童王将LC)

第3R第2Zのガバナー公式訪問は、2019年9月17日(火)にはほえみの宿 滝の湯において、伊藤明彦地区ガバナー、小関利一第一副地区ガバナー、佐野宏美第二副地区ガバナー、キャビネット役員、第3R第2Zの会員を含め、130名の出席のもとに開催されました。

ガバナー公式訪問に先立ち開催された三役協議会では、ガバナー訪問質問書に基づき、伊藤ガバナーより、会長テーマ、会員増強、維持等質問があり、第3R第2Zの5クラブ会長から実施状況等の説明がありました。

又、伊藤ガバナーからのLCIF100ドル献金の説明協力依頼、キャビネット幹事L.二位関賢一からGAT体制、第一副会長の諮問委員会への参加確認事項の説明が行われ、LCIF100ドル献金、GAT体制、委員会の増員等に対する意見があり、協議の結果理解がなされ、予定時間を越える活発な会議でした。

また、山形県内で行われている、乳がん早期発見のための啓発であるピンクリボン運動が9月に、天童市が担当との事もあり、ガバナー公式訪問時に手首にピンクリボンを付けて協力したい旨を了解頂き、女性に優しいライオンズクラブとして全員可愛いピンクリボンを付けて公式訪問、

5クラブ合同例会に臨みました。

公式訪問例会は、伊藤ガバナー、奥山常任名誉顧問、第一小関、第二佐野副地区ガバナーが、盛大なる拍手の中入場し、歓迎、ガバナー他挨拶の後、会





員増強推進賞、バナー贈呈され、入会式ではガバナーより新入会員が胸に光るライオンバッヂを付けて頂き、ライオンズマンのウイサーブの心を抱き歩み始めました。

キャビネットからの連絡事項等のスケジュールを終えて、懇親会場に移動し、真剣による居合道範士八段小笠原正幸氏（天童王将LC）による演武が行われ、その舞は、伊藤ガバナーの一年間の露払いの趣がありました。

懇親会に入り、ガバナーを囲んで、にぎやかに楽しく時間が過ぎ、“また会う日まで”を合唱して日程を終える事が出来ました。

最後に協力して頂いた皆様に感謝申し上げます。

第4R・第1Z

4R・1Z L. 工藤 敏幸（東根LC）

数日前まで残暑厳しい日々が続いていたが、9月13日（金）は、朝からさわやかな感じがして、秋に足を一歩踏み入れた感じがした。秋晴れとなったこの日に、332-E地区、地区ガバナーL.伊藤明彦、第一副地区ガバナーL.小関利一をお迎えしてガバナー公式訪問並びに4R、1Zの5クラブ合同例会が、担当クラブ東根ライオンズクラブ、会場はさくらんぼ東根温泉 よし田川別館で開催された。

ZCの立場としては任期中最大行事となることでクラブ3役と打ち合わせをし、当日まで良い緊張感を持って過ごすことが出来た。公式訪問前の3役協議会1時間前に集合を掛け会場の準備に当たったが、クラブの平均年齢70歳を過ぎ高いところの設営には大変で他のクラブ員の力も借りて3役協議会寸前まで行った。ゾーンの諮問委員会もそうだが、ましてやガバナー出席の諮問委員会ともなれば3役の方々にとっては緊張感の走る会議となるのではないだろうか。



伊藤ガバナーは今年度のガバナーテーマに「サステイナビリティ」を掲げられた。私だけでなく多くのライオンが多くの情報から調べられたのではないだろうか。そして勉強させていただいた。3役協議会もガバナーの質問には各クラブとも積極的に活動されていることを発表されZCとしてもほっとしたところです。公式訪問では、案内役のZCを先頭に、伊藤ガバナー、小関第一副地区ガバナー、キャビネット3役、副幹事L.佐藤英昭の順で入場され大きな拍手で迎えられた。公式訪問はガバナーの掲げたテーマを4R、1Zのライオンに一番身近な場所でわかってもらえるか、そしてどれだけ心を近づけることが出来たかだと思う。

懇親のなかでは珍しい横笛が吹かれ、歌ではキャビネット幹事のL.二位関賢一がマイクなしですばらしい喉を披露した。いい雰囲気の中で心をつにできたと思う。今年度4R、1Zのライオンと共に伊藤ガバナーを支えていきます。

最後に大石田RCのL.芳賀清おいしいぺそら漬けをテーブルにたくさん添えていただきありがとうございました。



第4R・第2Z

4R・2Z L.田中 榮造 (新庄LC)

この度は、何かとお忙しい中を伊藤明彦ガバナーはじめキャビネット役員の皆様、4R2Zの会員の皆様、ガバナー公式訪問への参加誠に有難うございました。2ゾーンを代表し心より感謝申し上げます。昨年は副ゾーンチェアパーソンとして伊藤ZCの下、準備に協力させていただき勉強しながらの活動でありました。今回、公式訪問の準備にあたりいざ自分の番となりますと、いくら準備を進めても何か忘れていような気がして、当日を迎えるに不安でありましたが、キャビネット事務局はじめ皆様の協力を得て無事終えることができました。三役協議会では、各クラブ会長とガバナーとのやり取りの中に、緊張と真剣さがあり今後の活動に期待をするところであります。ライオンズクラブを取り巻く環境は、4R2Zのみならず高齢化、企業数の減少等々、問題は山積しておりますが、この地域にライオンズクラブを必要とする人たちがいる限り活動は永



続します。伊藤明彦ガバナーは、国際テーマ「ウィ・サーブ」複合地区アクティビティスローガン「東北の力は友情と絆 感謝で繋ごう 奉仕の心！」に基づい



て、ガバナーテーマ「サステイナビリティ」を掲げました。ライオンズクラブ活動にはヒューマニズムが根底にあります。人と人が助け合い、誰もが豊かで生きられる社会づくりは世界の願いであり、このライオニズムの精神を持ち続け、各種の活動に参加できることを誇りとし、持続させることがまさにサステイナビリティの一環であると信じます。今回の訪問に際し、伊藤明彦ガバナーの精神を受け継ぎ、4R2Zのライオンズの仲間と共に支えあい協力できる環境づくりに取り組んでまいります。関係各位の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

第5R・第1Z

5R・1Z L.尾沼 馨 (酒田LC)

5R1Zの地区ガバナーL.伊藤明彦公式訪問が9月20日に酒田駅前ル・ポットフーにてゾーン内6クラブ58名、キャビネットより13名、総勢71名にて行われました。

公式訪問に先立って行われた三役協議会では伊藤明彦ガバナーより各クラブ会長に対して会長テーマ、会員増強及び維持、LCIF100キャンペーンについて質問がありました。

サステイナブル・アクティビティ〜持続可能性のある奉仕活動を〜にはいずれも欠くことができない重要なテーマであり、クラブ会長より各クラブの現状、今後の意気込みを伊藤明彦ガバナーにお伝えし、ガバナーからは的確なアドバイスを頂きました。今後につながる有意義な会議となりました。

続いて行われた公式訪問では例会セレモニー後、伊藤明彦地区ガバナー・小関利一第一副地区ガバナー・佐野宏美第二副地区ガバナーよりご挨拶があり、次にガバナーより各クラブにバナーが贈呈されました。また今回は4名の新





入会員の入会式が行われました。私もそうだったようにガバナーよりライオンズピンを頂くことは、今後の奉仕活動の大いなる励みになったのではないのでしょうか。

その後の懇親会も和やかな雰囲気の中で進行し、佐野宏美第二副地区ガバナーのライオンズローアにより締め上げて頂き、成功裡に終了することができました。

ガバナーはじめキャビネット構成員の皆様、各クラブの皆様、本当に有難うございました。

第5 R・第2 Z

5R・2Z L.田中 宏(鶴岡LC)

去る9月25日、第5 R第2 Z(鶴岡市・三川町)への地区ガバナー L.伊藤明彦 公式訪問が、鶴岡市のグランド エル・サンにて開催されました。

三役協議会では、今年度のガバナーテーマである「サステナビリティ(持続可能性)」を中心に、ガバナーと各クラブ三役の協議が行われました。クラブの持続可能性という、会員減少あるいは会員増強をイメージする方が多いかも知れません。しかし今年度は、アクティビティスローガンに「サステナブル・アクティビティ〜持続可能性のある奉仕活動を〜」と掲げてある通り、アクティビティが



持続可能なものであるかどうかとも検証していくことが求められています。これまで継続されてきたアクティビティを尊重しつつも固執することなく、地域に求められている内容で、各クラブ単独ではなく住民などとも連携しながら、持続可能な形で実践する。新たなアクティビティの可能性を模索していくことが重要だと感じた三役協議でした。

続いて、ゾーン内8クラブの合同例会として地区ガバナー公式訪問を開催。100名を超える参加で、盛大に伊藤明彦ガバナーをお迎えできたことに感謝いたします。ご欠席だった小関第一副地区ガバナー、佐野第二副地区ガバナーにおかれましてはまたの機会にご来訪をお待ちしております！

3クラブに合計4名の新入会員を迎える入会式も大いに盛り上がり、今年度第1クォーターの良い締めくくりとなりました。ラグビーの格言にちなんで言えば、「One for All」会員一人一人がゾーン全体のために働き、「All for One」ゾーン全体として社会貢献という一つの目標に向かって協力できる、そんな第5 R第2 Zを目指して邁進していきましょう！



山形県知事〈表敬訪問〉

2019年10月3日(木)

地区ガバナーL.伊藤明彦ら三役にて
山形県庁を表敬訪問しました。



山形まるごとマラソン応援

2019年10月6日(日)

地区ガバナーL.伊藤明彦が山形市長と
山形市役所前でランナーを応援。



副ゾーン・チェアパーソンセミナーを開催

地区GLT副コーディネーター L.富樫 正明

9月24日(火) 13:00～17:00の日程で東根さくらんぼタントクルセンターにおいて副ゾーン・チェアパーソンセミナーを開催しました。屋代地区GLTコーディネーター(元地区ガバナー・名誉顧問)が講師となり、副ゾーン・チェアパーソン10名全員参加と副コーディネーターを含め総勢12名でのセミナーでした。



セミナーの内容は、自己紹介に始まりライオンズクラブ国際協会の目的、ゾーン・チェアパーソンの責任や地区やクラブとの関わりについて説明がありました。

国際協会の今年度の重点目標「奉仕の必要とされる5つの分野(グローバル重点分野) 糖尿病・視力保護・食糧支援・環境保全・小児がん」についての説明とアラート委員会についてもゾーン・チェアパーソンとしての取り組み方の説明がありました。ゾーン・チェアパーソンには、ゾーン内のクラブと地区を結びつける重要な役割があること、ゾーン・チェアパーソンの活動は、ゾーンの最高運営責任者として地区ガバナーへの報告義務や、ゾーン内クラブの発展を支援すること、国際協

会の目的を推進すること、地区GMTコーディネーターと連携し、新クラブの結成を含む会員増強に積極的役割を果たすこと、地区GLTコーディネーターと連携し、指導的育成の取り組みを積極的に支援することで、ゾーン内の全クラブの健全・向上・強化を推奨し、ゾーン内全クラブが確実にその会則及び付則に従って運営出来るよう支援するなど多岐にわたります。地区のクラブの運営が成功するか否かは、ゾーン・チェアパーソンの活動が大切との観点から、332-E地区は、副ゾーン・チェアパーソン制度を採用しました。副ゾーン・チェアパーソンを経験することがゾーン・チェアパーソンの準備期間となり、このセミナーで副ゾーン・チェアパーソンの意義を感じてもらえたと思いました。

最後にグループディスカッションを行い、グループ発表・意見の交換・質疑応答を行い活発で有意義なセミナーとなりました。



アクティビティ

薬物乱用防止活動

10月17日(木) 午前6時30分より、天童市内のJR4駅(天童駅・天童南駅・高掬駅・乱川駅)に分かれ、高校生を対象に早朝の通学・通勤の一人一人に、天童LCオリジナルポケットティッシュ「ダメ。ゼッタイ。」を手渡し、薬物の恐ろしさ・防止を訴えました。

当クラブは世界ライオンズ奉仕デーの一環として毎年行っております。(今年で継続12年)

天童ライオンズクラブ
幹事 L.滝口 君雄



九州北部豪雨災害支援・台風15号暴風雨 災害支援について

会則・アラート委員会

委員長 L.山下 里美

紅葉の季節、会員皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は当委員会につき格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。

さて、8月九州北部豪雨災害、9月台風15号暴風雨災害支援に対し地区アラート委員会として会員皆様よりご協力をいただき支援物資の輸送をさせていただきました事は、各ZC、クラブ会長、クラブアラート委員への御報告書の通りでありますとともに、近年毎年のように自然災害が発生し、私たちライオンズクラブとして被災地支援、被災者支援を行っているところであり、各クラブにおかれましても姉妹クラブや他地区への奉仕支援を行っていることはお察し申し上げます。

九州北部豪雨災害支援に際し337-C地区アラート委員長、石永Lより緊急災害支援物資の要請があり、伊藤明彦地区ガバナーと協議の結果、当地区より前年度会員皆様より収集していただきました備蓄品、新品、中古のタオル6,000枚、ウエス3箱を8月30日発送させていただきました。

なお、発送先は、(佐賀県武雄市武雄町、337-C地区武雄ライオンズクラブ事務局)宛

武雄ライオンズ会員による災害への奉仕事業は現在も、支援物資の仕分け作業や物資の運搬、そして炊き出し支援と継続して活動にあたっており、長期にわたり奮闘している状況です。

9月千葉県全域を襲った台風15号暴風雨災害支援には

アクエリアス500ペットボトル
1,200本・UV対応土嚢袋2,000枚・
軍手100組・無洗米100kg・マイカ
線400M・地下足袋6・ブルーシ
ート3,000番60枚・タオル1,000枚
備蓄品・トラロープ5巻き

現地物資調達費として、20,000円
を332-A地区青森ZERO炊き出し支
援のトラックに積み込み、9月18日
発送いたしました。

現地のライオンズメンバーの情報
によれば、支援物資の供給はほぼ充

実し、物資倉庫には配布待ちの状態だそうで、ただ、山間部や連絡の取れていない地域に運搬が追い付かないとのこと、ライオンズとJCI共同で軽トラックを走らせている状況です

ブルーシートに関しては屋根職人の確保ができないにもかかわらず、とりあえず貰っていく方や、素人が昇って転落するケースもあることから自粛していることもあるようですとのご報告を受けており、一日も早い復旧を願うばかりであります。

段階では台風19号の被害や、その後の集中豪雨によりブルーシートが飛散し雨漏りが発生した住宅もあるようで、千葉に関しては三度大きな自然災害に見舞われ地元ライオンズクラブにとっては大きな負担になっていることと察するところであります。

私たち332-E地区として、出来ることを考え検討し日本全国の地区、クラブが円滑に奉仕活動できるよう縦横の連携を密にし、今後も自然災害時に対し心構えを備えなければならないと考えています。

また、台風19号暴風雨災害、その後の線状降水帯による被害は各地に甚大な被害を及ぼすものとなり、今後も地区アラート委員会として各会員の皆様には御協力をお願いすることと存じますがよろしく願いいたします。



「ピンクリボン啓発講演会」 事業報告

天童中央ライオンズクラブ

クラブ会長 L.野口 美樹

10月12日(土) 天童ホテルにて、「ピンクリボン啓発講演会」を開催しました。山形県立中央病院の乳腺外科科長である工藤俊先生を講師としてお招きし、「まさか私が乳がん!?その時家族が出来ること」を演題にお話をいただきました。

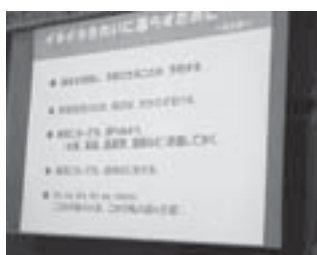
近年乳がんの罹患者は増え続け、東北大学病院のHPによると11人に1人と言われています。年間6万人以上が乳がんと診断され13,000人が亡くなっています。各界有名人が乳がんを告白したニュースを耳にすることも多くなりました。早期発見・早期治療ができれば生存率は他のがんに比べて高い数字が出ているにも関わらず、日本では乳がん検診率がなかなか上がらない報道もあります。女性のがんで罹患者数第一位である乳がん。それは罹患者ご自身だけでなく、ご家族や身近な人にも深刻な問題となります。天童中央LCでは今年度、クラブ初の女性会長ならではの事業ということで、「乳がんの早期発見・早期治療」、「乳がん検診を受けることの必要性」を訴えていくことを目的とし本事業を開催しました。

当日は天童市内外から120名の皆様にご参加をいただきました。講演の中で乳がんは、「微小転移」を伴う全身レベルのがんとして地道な治療が必要である一方で、がん治療に臨む際「It's my Life. It's my choice.」という心の持ち方が大事という先生のお話

は大変勇気づけられるものでした。

参加された皆様からは、「ピンクリボン運動への理解を新たにした。」「乳がんは全身病という事実にショックだったが、治る病気という言葉に勇気づけられた。」「高齢者だが生活スタイルにも大変関係するようなので今からでも見直して長生きできるように努力したい」等、大変前向きなご感想を沢山いただきました。

この事業に先立ち9月17日に開催された「第3R第2Zガバナー公式訪問」では、伊藤地区ガバナーはじめキャビネット役員の皆様、ゾーン内の各クラブの皆様からのご協力をいただき、当クラブ女性メンバー手造りのピンクリボンリストバンドを参加者の皆様から身に着けて例会に臨んでいただきました。また講演会当日は、伴332複合地区FWTコーディネーター、小関第一副地区ガバナー、横山地区FWTコーディネーター、大高第3R第2Zゾーンチェアパーソンをはじめ、県内のライオンズクラブの皆様方からも多数ご参加をいただきました。本事業の趣旨にご理解を賜わり絶大なるご協力に対し心から感謝申し上げます。



周年行事

寒河江ライオンズクラブ 50周年記念式典

50周年記念式典 会長 L.佐藤 薫

10月27日この菊薫る良き日に、寒河江ライオンズクラブは結成50周年式典を迎えることができました。1969年の11月16日に河北ライオンズクラブのスポンサーによって結成されております。

当日は寒河江市長佐藤洋樹様をはじめ地区ガバナー伊藤明彦ライオン、姉妹クラブの気仙沼ライオンズクラブとご来賓の方々、キャビネット役員、各クラブのご臨席たまり盛会に開催できました。改めて感謝申し上げます。また慈恩寺の舞楽であります「二の舞」が舞台上で演じられました。

50周年事業は4つの事業「市民グラウンドゴルフ大会の開催」、「長岡山に50本の松の木の植栽」、「慈恩寺へ階段手すりの設置」、「寒河江市福祉協議会に、ポップコーン、綿菓子機、かき氷機各2台贈呈」しております。

さて、佐藤功助初代会長が創立なされました寒河江ライオンズクラブは献血活動、青少年育成事業、環境保全活動など幅広い奉仕活動を行っております。また1990年5月には寒河江臥龍ライオンズクラブのスポンサークラブになり、1996年から1997年度には332E地区の地区ガバナーとして佐藤悌次郎ライオンを輩出しております。

ここに結成以来50年間私たちライオンに友愛と寛容の精神を説きご指導してくださった今は亡き物故ライオンの皆様に心より感謝申し上げます。

これからも寒河江ライオンズクラブは60周年、70周年をめざし、誇りをもって地域に密着した活動を行ってまいります。今後とも皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



米沢松岬ライオンズクラブ 45周年記念式典

45周年記念式典 会長 L.川島 満明

去る10月11日(金) グランドホクヨウにて、米沢松岬ライオンズクラブ結成45周年記念式典を開催いたしました。米沢市長中川勝様、米沢中央高等学校校長栗原裕俊様さらに、社会福祉法人仁慈の会理事長八巻美由様のご来賓はじめ、国際協会332-E第一副地区ガバナー L.小関利一、キャビネット役員、スポンサークラブの米沢中央ライオンズクラブ及び、当クラブの姉妹クラブ、愛知県 東海ライオンズクラブ・吉良ライオンズクラブ、鶴岡鶴陵ライオンズクラブ、並びに地区第2R1Z、2Zの皆様のご参列を頂き、盛大に挙行することができました。

当クラブは1974年10月27日米沢中央ライオンズクラブのスポンサーにより42名の会員で誕生し、ここに45周年を迎えることができました。その間多くの先輩、関係各位の温かいご支援、ご指導と会員のたゆまぬ努力と友情により、奉仕活動に精進してまいりました。この度の45周年記念アクティビティとして、米沢市へ「車いす10台」を寄贈させて頂きました。ある方から「車いすは消耗品」で、常時不足しているという話をお聞きしたところから、今回の記念アクティビティとなりました。

懇親会は当クラブの会員でもあります、L.青木、L.福田の金剛流祝謡からはじまり、当地の名物料理でもあります「芋煮」を振舞いました。特に愛知県からの姉妹クラブの方には是非味わって頂きたいと思いからの発案でした。また「5年間のあゆみ」と称し、DVDを作成し、美空ひばりが歌う米沢の方言「おしょうしな(ありがとう)」をバックにスクリーンへ投影、会場は常に和やかに盛り上がり賑やかな祝宴となりました。

これからも、地域社会に愛されるクラブとして、ここに45年間の歴史を刻み、さらに新たなる奉仕活動を目指してゆく覚悟であります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



台湾のホームステイを終えて

ライオンズクラブ国際協会332-E地区
米沢松川ライオンズクラブ
2019年度夏季派遣生

色 摩 陽 香

今回は米沢松川ライオンズクラブ様、2 RIZの各クラブ様、ライオンズクラブ国際協会332-E地区の皆様のもと、台湾へ交換留学という貴重な経験をさせていただきありがとうございました。そこで学んだことをいくつかまとめたいと思います。

初めに行った7泊8日のキャンプでは台湾に来ていたほかの国の方々と交流しました。ドイツにアメリカ、マレーシアにポーランドなどたくさんの国の方々と交流できました。本当にびっくりです。こんなにたくさんの国の人と関わるなんてめったにありません。英語の発音が国によって少し違うので、キャンプを通して様々な国の文化を知れてとても楽しかったです。本当に貴重な体験をさせていただきました。

また、私は台湾の人々の優しさに救われました。台湾の方々はみんなこころがあたかくて良い人ばかりでした。ホストファミリーのBettyさんのお母さんやお母さんのお友達など、みなさんが会いに来てくれてお声をかけて下さいました。Bettyさんのお兄さんは英語ができるので英語で会話することができました。お母さんの友人の方々は日本語が少し分かるようで、日本語で挨拶をしてくれたりしてすごくうれしかったです。特にお兄さんの彼女さんは日本語を勉強されていて日本語で沢山会話ができました。

ホームステイ滞在中、様々な方の優しさがあって

私は充実した留学生活が送れたのだなと思いました。たとえ文化の違いがあったとしても、こんなにもたくさんの方々と関わられました。優しさがあればきっとどんな人ともあたたかい関係を築いていけるのだと改めて感じました。

この留学で一番学んだことは、積極的になること、自ら進んで行動することです。私は内気な性格のため自分から声をかけるということが苦手でした。

キャンプでもなかなか自分から声をかけることができず、周りに声をかけられてもらっている感じでした。もっと自分から声をかけて、お友達を作っていけたら良かったのにと少し悔しい思いもしました。ですがホストファミリーの方であるBettyさんがすてきな言葉をかけてくれました。「Don't be shy!」恥ずかしがらないでと。この言葉は私の胸にさりました。そこから私は自分から行くことが大事なのだと考えられるようになりました。本当に感謝しています。

最後になりますが、この度台湾に3週間派遣していただいたこと心より感謝いたします。私にとってこんな経験は二度とできないのではないかと思います。とても貴重な素晴らしい経験をさせていただきました。このような機会を与えて下さったライオンズクラブの皆様には深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



ホストファミリーとお食事



キャンプの開幕式にて



ペイントボール体験



胡麻とお茶づくり体験

令和元年度 献血推進委員会

アイヘルス・献血・献眼・臓器移植推進委員会

委員長 L.伊藤 秀吉

本年の献血推進研究会は10月30日(水) 会場はパレスグランデールで、ライオンズクラブ国際協会332-E地区と山形県赤十字血液センター様主催で開催され、県保健担当5名、山形県赤十字血液センター職員12名、東北ブロック血液センター2名、キャビネット役員・事務局15名・各ライオンズクラブ会員56名総勢85名の参加のもと盛大に開催されました。

この献血推進研究会の主旨は、献血の現状と必要性、特に若者層献血者の増加に向けての課題と対策。ライオンズクラブ332-E地区ガバナーアクティビティスローガンであります「サステイナブル・アクティビティ」～持続可能性のある奉仕活動を～に基づき1万人献血達成に向け各クラブの方針・対策・取り組みの報告発表を行って頂きました。各クラブとも特徴と思考を凝らし大変感動致しました。敬意を表し目標達成にご期待申し上げます。

また、日本赤十字東北ブロック血液センター事業部長・早坂勤様より「血液事業の現状と課題」との題目でご講演を頂きました。

内容は、日本全体が人口減少の中、献血者数が減っており特に若年層に期待しているものの

学生時代は献血の機会が有りますが、社会人になると急激に減少しているデータが示されました。この年齢層へ献血の必要性和重要性を訴求啓蒙するため作成したDVDを放映頂きました。視聴者の心に響き渡る内容で非常に良い仕上がりでした。つきましては是非各クラブの例会でご覧頂きたく検討しております。

出来ればTVで日本赤十字のTVコマーシャルに起用頂きたい位です。(個人感想)

成分献血の現状は山形駅前献血ルームでしか行われておらず各ライオンズクラブ会員より建設的な意見が出され大変有意義な献血推進研究会でした。

最後に332-E地区目標1万人献血必達に向け皆様のお力添えよろしくお願いいたします。



ラオス・ホンカー小学校建設支援プロジェクト経過報告

ライオンズクラブ国際協会 332-E地区 地区ガバナー L.伊藤 明彦

今年度のガバナーテーマは「サステイナビリティ」～持続可能性～です。全ての国連加盟国が合意したSDGs(持続可能な開発目標)の17分野の目標には、質の高い教育をみんなに、安全な水とトイレを世界中になどの目標が掲げられています。

伸び盛りの発展途上国であるラオスの地方地域、チャンタブリン市ホンカー村の貧困家庭では子どもたちを遠くの学校に通わせる余裕はありません。ぜひ、全ての子どもたちが地元で安全で安心な校舎で学ぶことができるようにしてあげたい。そのようなことを目的として、LCIFから人道支援マッチング交付金を支給していただき事業がスタートいたしました。

2018年6月 現地ラオス調査・現地ラオス当局との打合せ・現地仮調印式

2019年4月 現地ラオス当局との建設調印式後着工開始

2019年10月 現地工事進捗状況の確認

以上の日程で進んでおり、来年2020年2月3日には竣工式典を予定しています。多くのライオンに出席していただき盛大にお祝いをしたいと考えています。



マンスリーレポートクラブ別一覧表

2019.10月

R	Z	クラブ名	会員移動状況						家族会員		金銭アクティビティ		労力アクティビティ		献血		献腎	献眼	LCIF 金額	出席率 (%)
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人数	受付者数	献血者数				
1	1	山 形	46	48	3	0	0	48	0	0	6	1,436,201	6	51	82	77	0	0	0	91.6
		山 形 蔵 王	36	35	2	0	0	35	0	0	2	36,890	4	43	37	34	0	0	378,000	81.4
		上 山	47	47	2	0	0	47	18	18	5	1,030,714	6	73	48	40	0	0	0	91.4
		山 形 中 央	38	39	35	1	0	40	3	3	4	333,690	3	30	0	0	0	1	0	83.5
		山形センチュリー	17	19	3	1	0	20	0	0	4	25,490	4	26	0	0	0	0	0	71.7
		上山あららぎ	35	35	3	0	0	35	4	4	2	22,290	5	38	0	0	0	0	0	71.4
	2	小 計	219	223	48	2	0	225	25	25	23	2,885,275	28	261	167	151	0	1	378,000	
		山 形 霞 城	90	92	2	0	0	92	15	20	5	405,030	4	15	122	112	0	0	0	61.1
		山 形 千 歳	31	31	2	0	0	31	5	5	5	213,037	4	25	16	12	0	0	0	70.9
		山 形 紅 花	29	30	2	1	0	31	0	0	3	157,090	3	37	0	0	0	0	0	80.3
		山 形 羽 陽	29	29	2	0	0	29	0	0	2	167,125	2	27	0	0	0	0	0	67.2
		山形アルカディア	27	28	2	0	0	28	7	7	2	79,164	2	21	0	0	0	0	0	69.6
	小 計		206	210	10	1	0	211	27	32	17	1,021,446	15	125	138	124	0	0	0	
	合 計		425	433	58	3	0	436	52	57	40	3,906,721	43	386	305	275	0	1	378,000	
2	1	米 沢	50	50	4	0	0	50	14	26	2	440,200	4	23	11	11	0	0	0	45.0
		米 沢 中 央	29	28	3	0	0	28	0	0	1	2,800	2	2	11	10	0	0	0	48.2
		米 沢 松 岬	17	17	4	0	0	17	1	1	1	3,000	4	6	11	10	0	0	0	41.1
		米 沢 松 川	41	34	3	0	0	34	7	10	0	0	1	2	11	11	0	0	0	52.9
		小 計	137	129	14	0	0	129	22	37	4	446,000	11	33	44	42	0	0	0	
	2	南 陽	38	38	5	0	1	37	0	0	3	83,749	1	1	51	47	0	0	0	44.5
		川 西 山 形	20	21	3	0	0	21	6	6	1	2,340	1	10	0	0	0	0	0	88.0
		高 島	63	63	3	0	0	63	11	14	3	514,752	1	16	0	0	0	0	0	38.0
		長 井	48	47	2	0	0	47	9	9	1	51,555	1	17	0	0	0	0	0	51.0
		飯 豊	23	23	2	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.8
		白 鷹	23	23	2	0	0	23	0	0	1	4,241	1	1	13	10	0	0	0	50.0
		小 計	215	17	0	1	214	26	29	9	5	656,637	45	64	57	0	0	0		
		合 計	352	344	31	0	1	343	48	66	13	1,102,637	16	78	108	99	0	0	0	
	3	1	河 北	37	38	3	0	0	38	9	10	1	3,186	1	1	0	0	0	0	0
寒 河 江			40	39	4	0	0	39	11	12	5	1,305,174	5	46	0	0	0	0	0	93.5
西 川			27	28	2	0	0	28	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64.2
中 山			17	17	2	0	0	17	1	1	1	20,000	2	5	31	29	0	0	0	50.0
寒河江臥龍			58	59	2	0	0	59	14	14	4	86,455	4	48	0	0	0	0	0	47.4
2		小 計	179	181	13	0	0	181	36	38	11	1,414,815	12	100	31	29	0	0	0	
		天 童	31	31	2	0	0	31	0	0	4	70,566	7	49	19	17	0	0	0	93.5
		天 童 王 将	61	62	2	0	0	62	7	10	3	197,460	7	96	30	29	0	0	0	86.2
		天 童 舞 鶴	46	44	5	0	0	44	7	7	1	4,950	3	13	23	21	0	0	0	85.2
		天 童 中 央	52	53	2	0	0	53	0	0	3	260,234	4	94	30	29	0	0	0	79.2
		天 童 も み じ	13	13	2	0	0	13	1	1	2	12,300	3	16	7	6	0	0	0	100.0
		小 計	203	203	13	0	0	203	15	18	13	545,510	24	268	109	102	0	0	0	
		合 計	382	384	26	0	0	384	51	56	24	1,960,325	36	368	140	131	0	0	0	
4		1	村 山	28	29	4	0	0	29	8	9	2	46,120	2	10	50	47	0	0	0
	東 根		21	21	2	0	1	20	3	4	2	78,212	5	22	17	15	0	0	0	73.8
	尾 花 沢		42	41	2	0	0	41	12	13	3	334,322	4	34	43	39	0	0	0	53.5
	大 石 田		34	36	2	0	0	36	4	5	0	0	1	16	0	0	0	0	0	76.3
	東根さくらんぼ		48	48	2	0	0	48	10	10	2	50,000	2	19	0	0	0	0	0	65.7
	2	小 計	173	175	12	0	1	174	37	41	9	508,654	14	101	110	101	0	0	0	
		新 庄	18	18	2	0	0	18	5	5	4	64,263	4	21	57	49	0	0	0	84.6
		真 室 川	36	38	3	3	0	41	5	5	2	245,010	1	10	0	0	0	0	0	46.0
		新 庄 も が み	19	19	1	0	0	19	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77.7
		新世紀センチュリー	32	32	5	1	0	33	3	3	0	0	1	11	0	0	0	0	0	69.6
		新庄もみの木	18	18	2	0	0	18	0	0	1	12,540	1	13	0	0	0	0	0	72.2
		小 計	123	125	13	4	0	129	14	14	7	321,813	7	55	57	49	0	0	0	
		合 計	296	300	25	4	1	303	51	55	16	830,467	21	156	167	150	0	0	0	
	5	1	酒 田	77	78	4	0	0	78	23	28	2	107,000	4	32	0	0	0	0	0
余 目			17	18	4	0	0	18	4	4	0	0	2	4	45	41	0	0	0	50.0
酒 田 み な と			41	37	4	0	0	37	11	13	3	57,859	2	12	0	0	0	0	0	78.3
酒 田 山 王			7	7	2	0	0	7	0	0	1	9,884	2	9	0	0	0	0	0	85.7
酒田シーサイド			30	30	2	0	0	30	0	0	1	120,000	0	0	0	0	0	0	0	68.3
酒田さわやか			12	12	1	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66.6
2		小 計	184	182	17	0	0	182	38	45	7	294,743	10	57	45	41	0	0	0	
		鶴 岡	46	47	2	0	0	47	7	9	3	5,616	1	10	0	0	0	0	0	45.7
		鶴 岡 朝 陽	28	29	2	0	0	29	5	5	1	31,060	3	14	58	52	0	0	0	22.9
		三 川	23	23	2	0	0	23	5	5	0	0	1	5	61	53	0	0	0	52.1
		羽 黒	21	21	2	0	0	21	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42.8
		鶴 岡 鶴 陵	38	39	4	0	0	39	10	14	1	1,560	2	10	0	0	0	0	0	80.7
		藤 島	49	52	2	0	0	52	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59.7
		鶴 岡 中 央	38	40	2	0	0	40	0	0	2	113,836	3	57	68	61	0	0	0	53.7
鶴岡ナイスフェロー	6	6	3	0	0	6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	100.0		
小 計		249	257	19	0	0	257	41	52	7	152,072	11	97	187	166	0	0	0		
合 計		433	439	36	0	0	439	79	97	14	446,815	21	154	232	207	0	0	0		
地 区 合 計		1,888	1,900	176	7	2	1,905	281	331	107	8,246,965	137	1,142	952	862	0	1	378,000		



No.2 「まなび館」



山形市立第一小学校は、昭和2年に山形県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設され、平成13年に国指定登録有形文化財登録、平成21年に近代化産業遺産として認定されました。平成22年から、小学校としての機能を終え、「観光」「交流」「学び」の拠点施設「山形まなび館」として活用されております。また、平成29年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」に映画分野で山形市が加盟認定されたことを契機に、「山形まなび館」として活用されている山形市立第一小学校旧校舎をリノベーションし、創造都市の拠点として再整備・再活用していくプロジェクト「Q1(キューイチ)プロジェクト」が進行しています。

山形に根ざす多様な文化芸術活動を支える機能として、幅広い世代のクリエイティブな活動を支え、企業等とも交流する機能や文化芸術に関するプロダクトなどを扱う商業テナント機能などを追加し、周辺エリア及び中心市街地の活性化にも繋がれています。

